

●NPOパワーアップ補助金事業成果報告会 資料

	<table border="1"> <tr> <td>団体名</td> <td>NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>理事長 戸村 泰</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>千葉市美浜区真砂 3-18-2-505</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>043-276-7300 (事務局長 服部達雄)</td> </tr> </table>	団体名	NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会	代表者名	理事長 戸村 泰	所在地	千葉市美浜区真砂 3-18-2-505	電話番号	043-276-7300 (事務局長 服部達雄)
団体名	NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会								
代表者名	理事長 戸村 泰								
所在地	千葉市美浜区真砂 3-18-2-505								
電話番号	043-276-7300 (事務局長 服部達雄)								
1 事業名	高校のニーズと特性にマッチさせた環境学習プログラムづくりとそれにもとづく環境学習授業の実施								
2 事業費	743,800 円 (このうち県の支出 371,900 円)								
3 事業期間	平成 19 年 7 月 20 日より平成 20 年 2 月 29 日まで								
4 事業の目的	「社会に巣立ちする直前の高校生たちが、実社会で発生している環境問題や自分たちの行動が社会に及ぼす影響などを考えて行動してゆく」きっかけづくりが非常に重要と考え、それに相応しい「環境学習プログラム」を開発し、学校と連携して、社会経験豊かな講師による授業を実施し、次代を担う高校生に対する環境教育の一層の充実に NPO として役立つこと。								
5 事業概要	<p>①環境に関する 15 テーマについて「指導計画書」、「テキスト」および「実験機材」を用意し、それぞれの高校のニーズ・要請にフレキシブルに対応した授業が行えるようにした。</p> <p>②実際に高等学校 2 校において環境学習授業を実施した。</p> <p>③さらに、県内の高校を訪問し、NPO との協働による環境授業を広報した。</p>								
6 事業経過	<p>①19 年 7 月～11 月：2 つの高校での授業の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校との授業内容実施の詳細な打合せ(県立茂原高校、東京学館浦安高校)</li> <li>○高校向け 10 テーマの教材(指導計画書、テキスト、実験機材)の内容見直し・充実を図る。</li> </ul> <p>②19 年 9 月～11 月：2 校での授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○茂原高校：「環境科学」特別授業を選択した 3 年生 11 人に、3 テーマ・6 時限の授業を行った。</li> <li>○東京学館浦安高校：10 月の 1 年生の総合学習(環境)で 2 テーマ・4 時限の授業を行った。</li> </ul> <p>③19 年 7 月～20 年 2 月：新規科目(テーマ)の完成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高校向け 5 テーマ、子供向け 3 テーマの環境学習テキストを完成させる。</li> </ul>								

<p>7 事業成果</p>	<p><b>■具体的な成果</b></p> <p>(1)2校で実施した授業の4テーマ(①廃棄物と不法投棄、②水質と測定、③バイオマスの活用、④水環境「命をはぐくむ水!」)のテキストがより充実したものに改良された。</p> <p>(2)新しい視点からの下記の5科目(テーマ)を高校向けに、また、3テーマを子供向けに完成させた。</p> <p>&lt;高校向け&gt;①エコライフ「グリーンコンシューマーとマイバッグ持参の取組」、②大気環境「身近な空気と地球温暖化」、③水環境と化学物質「水の浄化を考える」、④自然保護「校庭から学ぶ」、⑤食と環境「フードマイレージと地産地消」</p> <p>&lt;子供向け&gt;①「地球温暖化について学ぼう」、②「廃棄物について学ぼう」、③「子供エコ教室」</p> <p>(3)県内13の高校を訪問し、我々NPOとの協働による環境授業を説明した。その結果、数校で来年度に向けて前向きな検討をいただいた。また、今回開発した教材を用いての地域での子ども向け環境学習会を始めている。</p>
<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p><b>■直面した課題</b></p> <p>県環境学習基本方針が制定され、学校での環境学習の充実にNPOと学校との協働が効果あるはず(特に社会に巣立つ直前の高校生にとって)との思いで努力してきたが、いまだ、学校サイドでのそうしたことの重要性の認識が薄く、関心の高い教諭の数は限られているのが現状である。</p> <p><b>■平成20年度以降の事業展開</b></p> <p>(1)補助金事業採択の条件として、今後の事業の自主的な展開の検討を求められている。困難が予想されるが、我々の趣旨を理解していただける学校を粘り強く見つける努力をし、学校とNPOの協業を発展させたい。このためには、行政の支援がきわめて有効である。</p> <p>(2)授業の仕方として、一方向の講義だけでなく生徒との双方向の会話を増やすなどの参加型・体験型授業への更なる工夫を図る。</p> <p>(3)今回開発した環境学習プログラムとテキスト類は、我々環境カウンセラーの知識と経験をベースにして、実験を多く取り入れたものである。来年度以降も科目(テーマ)を増やすとともに、さらに内容の充実を図って、学校や地域での環境学習にも活用していく。</p>
<p>9 補助金事業の感想等</p>	<p>①実際に活動できる期間が短いので、人・物・金について十分に煮詰めた当初計画をつくるのが肝要である。</p> <p>②活動の全体を把握するため、各メンバーごとの活動記録を作成、集計することによって円滑なプロジェクト管理を行った。</p>